



◎この石碑は鹿野、石船農村公園（石船温泉南側）内にあります。

この標語は、平成 16 年に河川愛護月間標語公募で最優秀賞（国土交通大臣賞）を受賞された^{ありくにゆううん}有國遊雲さん（周南市）の作品です。

はじめに



周南市は、海の青、山の緑に囲まれた自然豊かな面を持ちながら、石油化学コンビナートのまちとして発展を続けている、自然と産業が調和した美しいまちです。

近年、環境問題は大気汚染や水質汚濁などの問題から、地球温暖化やオゾン層の破壊、酸性雨といった地球規模の問題まで多岐にわたっています。こうした課題を将来の世代へ残さないためにも、私たち一人ひとりが環境問題を意識し、環境への負荷の少ない循環型社会の構築に取り組む必要があります。

本市では、「恵み豊かな潤いのある環境の保全、創造及び再生と将来の市民への継承」を基本理念とし、平成18年3月に「第1次周南市環境基本計画」を、平成27年3月に「第2次周南市環境基本計画」を策定しました。本書は、この「周南市環境基本計画」に掲げられた基本施策・重点施策を総合的かつ計画的に推進していくため、現在の環境状況及び施策の進捗状況を取りまとめたものです。

さて、平成26年度には本市において「人と生き物の共生できる水環境」をテーマに、「第28回 全国水環境保全市町村連絡協議会全国大会・名水サミット in 周南」を開催しました。水は命の源であり、私たち人間はもとより、地球上の生き物にとって欠くことのできない大切なものです。この名水サミットはかけがえのない水環境をこれからの時代を担う子どもたちへ引き継ぐため、私たちが今、何をすべきか、その責務と役割を考えるうえで、大変有意義なものになったと思っています。

次の10年、20年、さらには未来へと続く新たなまちづくりに向け、私たち一人ひとりが、共に考え、共に行動し、共に喜び、このまちに住んでよかったと思えるまちづくりに全力で取り組んで参りますので、皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

終わりに、本書が、健全で恵み豊かな環境の保全に向けた市民の皆さまの力強い行動への一歩となり、「豊かな自然をはぐくみ 未来へはばたくまち 周南」の実現に繋がることを祈念するとともに、本書の作成にあたり、ご指導、ご協力を賜りました周南市環境基本計画推進委員会の皆さまをはじめ、関係者の方々に心からお礼申し上げます。

平成28年3月

周南市長 木村 健一郎